

# SNS等を活用した 東京都高齢者福祉施設協議会 の情報発信

# KOUREIKYO JOURNAL & TOKYO

高齢協ジャーナル

第12号

2023年9月22日(金)発行

発行：社会福祉法人東京都社会福祉協議会  
東京都高齢者福祉施設協議会  
(東京都新宿区神楽河岸1-1)  
Tel. 03-3268-7172  
発行人：会長 田中雅英

<https://www.tcsw.tvac.or.jp/bukai/kourei>

東京 高齢協議会 検索

ホームページにて高齢者福祉  
情報を発信しています。



### 目次

対談 町亞聖×村井祐一／聞き手：水野敬生	
SNS等を活用した東京都高齢者福祉施設協議会の 情報発信	1-2
東京の介護ってすばらしいグランプリ開催	3
高齢協 TOPICS・室長コラム	4

### 東京都高齢者福祉施設協議会とは？

東京都高齢者福祉施設協議会（高齢協）は、社会福祉法人東京都社会福祉協議会（東社協）の業種別部会連絡協議会に属する部会の一つとして、東京都内の特別養護老人ホーム・養護老人ホーム・軽費老人ホーム・地域包括支援センター・在宅介護支援センター・デイサービスセンター等を会員とする組織です（会員数約1200施設・事業所）。

### 日本のSNSの利用状況

—— 始めに日本におけるSNSの利用状況をお聞かせください。

**村井** 日本でメジャーなSNSの利用状況とその特徴をまとめました（表1）。年代別に見ると、若者は圧倒的普及率で、60代以上でも50%近い人が利用しており、複数のSNSを利用する人も多くいます。

### ターゲットと目的に合わせてSNSを使い分け、発信の習慣化を

—— 高い利用率から、ともすれば社会を変えるほどの影響力のあるツールだと思います。町さんのSNSの利用方法についてお聞かせください。

**町** SNSはどこに影響を及ぼしたいか、何を目的とするかによって使い分ける必要があります。私はアメーバブログ（以下、アメブロ）とFacebookでの発信を行っています。Facebookは中高年利用者が多く、実名で顔の見える関係が築けることから、私が取り組む医療・介護における交流の中心となっています。同じ発信内容でも媒体により文章を変え、アメブロでは介護に初めて興味を持った方も読めるように表現をわかりやすくしています。Facebookでは、ある程度の医療・介護の知識があるという前提で記事を作っています。

医療・介護の情報は、自身や家族にそれが必要になったときに初めて興味を持たれるケースがほとんどです。戦略的な情報発信により日本全体の介護に対する本気度を上げられれば恒常的なアクセスは増やせるのではないかと思います。

—— 高齢協で各施設のSNSの利用状況を聞くと、炎

表1 日本におけるSNS利用状況

SNS名	利用者数	概要と利用者の特徴
LINE	9200万人	【連絡型】利用者数最大、幅広い年齢層が利用する連絡型
YouTube	6500万人	【動画型】動画を楽しめるSNS、幅広い年齢層が利用
X(旧Twitter)	5895万人	【短文型】10〜20代が多い、気軽に情報発信できる
Instagram	4610万人	【画像型】10〜30代で女性が多い、近年利用者増加傾向
Facebook	2600万人	【実名型】利用者は近年横這い、実名使用で少し硬め
TikTok	950万人	【若者特化型】動画配信、10代利用者の割合が圧倒的

※村井氏の整理を基に主な項目を抜粋して掲載

上（＝多くの人から批判されること）を恐れて利用していない、と言われることがあります。



**町** 介護業界の若い方は発信でなく、情報収集や知人との連絡ツールとしてSNSを利用するケースが多いように感じます。近年は変化しています。デジタルの分野の情報発信では遅れていると感じることもあります。個人で発信することが苦手な方が多いのであれば、所属する施設からの発信を習慣化するとよいと思います。小さな発信の積み重ねが、社会からの介護・福祉のイメージアップにつながっていくでしょう。

**村井** SNSを積極的に利用する方々の根底にはエンターテインメント要素を求める傾向があります。しかし福祉業界でその要素を入れると反響を



むらい ゆういち  
村井 祐一

田園調布学園大学 人間福祉学部  
学部長・教授、東京都高齢者福祉  
施設協議会広報アドバイザー。社会  
福祉領域を基盤とした情報活用  
技術（福祉情報マネジメント）に  
関する研究と実践を行う。



まち あせい  
町 亞聖

フリーアナウンサー、東京都高齢  
者福祉施設協議会アンバサダー。  
学生時代から日本テレビアナウン  
サー時代にかけてヤングケアラー  
として介護した経験を記した「十  
年介護」を出版したのち、介護業  
界の情報発信に取り組む。



みずの たかお  
水野 敬生

### 【聞き手】

東京都高齢者福祉施設協議会 情  
報・広報室長。社会福祉法人一誠  
会常務理事、第二偕楽園ホーム  
施設長。15年間に及ぶブログで  
の記事投稿の後、現在は「X(旧  
Twitter)」など、フォロワー約4.6  
万人のSNSを通じて情報発信な  
どを行う。

呼ぶ反面で、不謹慎とみられるような、賛否があると思います。真面目な要素が強い福祉を、エンターテインメントの中でどう見せるか考えていくべきです。

### フォロワー数4.6万人。フォロワー数増加には、能動的なフォロー、内容の共感性と新規性、更新頻度が重要

—— 自身は介護や福祉を身近に感じてもらいたいという思いから、長年ブログやSNSでの発信を続けています。現在「X」等のSNSのフォロワー数は約4.6万人で、若い方や一般の方が興味を示しやすい内容で1日5回ほど投稿しています。フォロワー数を増やして発信力、影響力を高めるためにはどのような工夫が求められますか。

**村井** 最も効果的な方法は相手をフォローすることです。相手に興味があるという意思表示が相互交流のきっかけになります。発信内容では、例えばシンパシーを感じる日々の雑感のような共感性と、役に立つ新しい知識が得られたという新規性を大事にするようにしよう。そして、頻繁に情報を発信することが興味の継続などの価値となるので、発信頻度もとても重要です。

### 各SNSの特徴に合わせた効果的な発信を

—— 高齢協では各SNSでの発信に取り組んでいます。高年齢協では各SNSでの発信に取り組んでいます。高年齢協では各SNSでの発信に取り組んでいます。高年齢協では各SNSでの発信に取り組んでいます。

**村井** 各SNSの特徴と活用方法について、表2にまとめています。SNSはそれぞれ特徴が異なるので、「誰に」「何を」「どんな言葉を使い」「どんな影響を与え」「どんな関係性を築くか」というそれぞれの要素を明確にし、使用するSNSを選ぶことが重要です。

### 炎上防止のために断定的な言葉や主張を避け、プライバシーへの配慮を

—— 我々の介護・福祉の仕事が高い技術と知識をもって、様々な方に専門的な支援をしていることをアピールするべきですね。情報発信をする際、注意すべきことはありますか。

**村井** 媒体によっても異なりますが、文字での発信では、断定的な強い言葉を使ったり、主義主張や思想を明確にしたりするのは、反響も反対意見も出やすい諸刃の剣です。組織の発信では、特定の思想はあらぬ誤解を受ける危険があり、炎上のリスクを考慮すると適切ではありません。また、特定の誰かをターゲットに誹謗中傷することはすべきではありません。写真での発信では、許可なく人や著作物が写り込んでしまうと、プライバシーや著作権の侵害からトラブルになる可能性があります。

**町** 私が発信時に一番気をつけていることは、「自分自身が見聞きしたことしか書かない」ことです。「X」では伝聞による無責任な発信がされることもあり、誤報がリツイートで拡散されて炎上してしまうこともあります。当事者性のある発信であれば、炎上の可能性は低いと思います。私の場合は、あくまで個人の観点に基づくものとして、断定的な言葉や意見の押し付けは避けていたり、発信の際には、実は10回ほど文章を推敲するぐらい慎重に行っています。

### 輝く瞬間を切り取り、自身の言葉で発信すれば必ず届く

—— 高齢協の各会員施設・事業所は、ご利用者に丁寧にし、質の高いサービスの提供に取り組んでいる現状を発信し続けたいと思います。団体としてどのように発信するべきか、アドバイスをお願いします。

**町** Facebookでの「アクティブ」くんによる施設訪問のように、キャラクターを主人公に発信すること



高齢協キャラクター「アクティブ」

表2 各SNSの活用方法

SNS名	SNSとしての特徴	活用方法
X(旧Twitter)	リツイートによる拡散力、一目で読める情報	他の人に見せたいような笑える・ほっこりする内容、日常の雑感などを発信
Facebook	实名制、コミュニケーションの双方向性	顔の見える関係で腰を据えて語り合う、一つのテーマをみんなで深めていく
Instagram	情報量の多い画像を配信、女性が多い	景色や食事、ファッションなど写真映えする「モノ」、出来事の瞬間「コト」の発信
LINE	幅広い年齢層、グループ機能やスタンプ機能	電話・メールに近い手軽で便利な情報伝達、スタンプによる文字を使わない共感
YouTube	情報量が最大の動画を配信、発信難易度高	高密度な情報やストーリー・メッセージ性ある動画を発信。企画・編集力が必要

※村井氏の整理を基に主な項目を抜粋して掲載

とや、シンボルとなる実在の人、例えば、東京ケアリーダーズ(介護の魅力発信や次世代育成に取り組む若手介護職のユニット)のような方々が発信することもよい形だと思っています。介護の魅力は言葉だけでは伝わりづらく、そこにいる人たちが笑顔で輝いている瞬間をどれだけ切り取って載せられるかが重要です。現場で働く方の気づきや笑顔に加えて、プライバシーに配慮した上で、施設の利用者が楽しそうに生活する姿も発信することは、外部の方に安心感や信頼感をもたらすと思います。また、施設のサイトに職員紹介が掲載されていると、介護に対するモチベーションが伝わってきます。

見識を深め、信頼を高める発信に取り組んでいきたいと思っています。本日はありがとうございました。

\*今回の対談の動画は、高齢協YouTubeチャンネルでもご覧いただけます。ぜひチェックしてください！

[https://www.youtube.com/channel/UC0C0bXe80\\_diy06WnjgmJ8w](https://www.youtube.com/channel/UC0C0bXe80_diy06WnjgmJ8w)

高齢協 YouTube チャンネル



## 高齢協の各種メディア(公式 SNS) 更新中!

**Facebook**  
東社協東京都高齢者福祉施設協議会 @tokyokourei



会員施設の情報や高齢協の各専門委員会の活動等を掲載中!

**YouTube**  
東社協東京都高齢者福祉施設協議会チャンネル



「東京の介護ってすばらしいグランプリ」や「記念対談」の様子、「高齢協」「各種別の高齢者施設・事業所」の紹介動画などをアップ! 新規コンテンツ追加中!

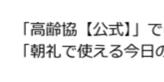
**Instagram**  
東京都高齢者福祉施設協議会 @Kourei-kyou



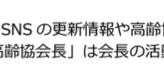
会員施設の身の回りのこと、会員施設で働く職員の日常などの写真を高齢協マスコットキャラクターの「アクティブ」と、ともに毎日アップ!

**X (旧Twitter)**

高齢協【公式】 @TokyoKourei



高齢協会長 @kourei-kyou



「高齢協【公式】」では、高齢者福祉・介護のこと、SNSの更新情報や高齢協に関するお知らせ、「朝礼で使える今日の記念日」を毎日ポスト! 「高齢協会長」は会長の活動などを発信中\*

高齢協ウェブサイトでは、高齢協の調査提言、様々な事業やイベントのお知らせ、種別施設を紹介するパンフレットや動画などを掲載。「KOUREIKYO JOURNAL」や機関誌「アクティブ福祉」のバックナンバー等もご覧いただけます。機関誌の一部記事の全文・写真等を掲載する「アクティブ福祉デジタル」も稼働中!

\*高齢協ウェブサイト(東京都社会福祉協議会ウェブサイト内)  
<https://www.tcs.wv.ac.jp/bukai/kourei>



# 「東京の介護って素晴らしいグランプリ」開催します！

多様な場面にスポットをあて、東京の介護の仕事の魅力を広くPRする年に一度のグランプリ。高齢協 情報・広報室（広報戦略推進委員会）が主催する、介護の魅力を伝えたい方がどなたでも応募いただけるイベントです。

## 令和5年度、「東京の介護って素晴らしいグランプリ 2023」が開催決定！！

動画・写真・コラム・レシピの4部門の作品をウェブサイトから募集します。

**入賞者には、賞金および豪華賞品もプレゼント！**

作品募集期間は、令和 **5** 年 **9** 月 **26** 日（火）～ **12** 月 **4** 日（月）です。

奮ってご応募下さい！（※詳細は、4ページ目をご覧ください。）

## 東京の介護って素晴らしいグランプリ2022 受賞作品紹介

（令和4年11月～令和5年1月作品募集、令和5年3月結果発表。）

「東京の介護って素晴らしいグランプリ」特設サイト <http://koureikyo.com/>  
すべての受賞作品（「入賞」作品含む）や審査員のコメント等の詳細は、上記サイトにてご覧ください。



グランプリ特設サイト



最優秀賞

動画部門

### 「高校野球最後の夏！じいちゃんはいちばんの応援団長！」

特別養護老人ホームひのでホーム 関澤 孝文 氏



優秀賞

・「重度訪問介護の魅力は『自分らしく生きる』と一緒に叶える事  
土屋訪問介護事業所・東京 コーディネーター石井さんの1日」  
ユースタイルラボラトリー株式会社 土屋訪問介護事業所 【図1-1】



【図1-1】

優秀賞

・「人と人がつながり合えるすてきなお仕事  
～介ご保けんについて調べる～」

高橋 美鶴 氏  
（保護者（社福）響会 好日荘ケアプランセンター 高橋 美香氏） 【図1-2】



【図1-2】

最優秀賞

写真部門

### 「コロナ禍の敬老祝賀会」

特別養護老人ホームフレンズホーム 山田 貴之 氏



優秀賞

・「語る背中」：伝えたくて、聴きたくて  
（シリーズ「語る背中」）【図2-1】  
（社福）聖風会 千住桜花苑 吉田 浩一 氏



【図2-1】

優秀賞

・「笑顔溢れる日常」【図2-2】  
（社福）仁生社 奥戸在宅サービスセンター 高田 紘行 氏



【図2-2】

最優秀賞

コラム部門

### 「愛と絆の力」

墨田区特別養護老人ホーム  
なりひらホーム  
小坂橋 晃氏 氏



優秀賞

・「ちゃんちゃかちゃんの♪すっちゃんちゃん♪。何か良い事♪あるかしら♪。」  
（社福）すこやか福祉会 江川 慎吾 氏

優秀賞

・「遠い国から来た家族」  
（社福）一誠会偕楽園ホーム ガルド ビアンカ プラデラ 氏

※特設サイトでは「コラム部門受賞作品集」をご覧ください！

最優秀賞

レシピ部門

### 「豆腐のふわふわキッシュ」

特別養護老人ホーム清明園 森本 光 氏



優秀賞

・「アツアツ！煉獄のたまご」【図3-1】  
（社福）道心会 特別養護老人ホーム藤香苑 渡邊 恵美 氏



【図3-1】

優秀賞

・「笑顔になれるみぞれ鍋」【図3-2】  
森 由香里 氏



【図3-2】

※特設サイトでは「レシピ部門作品集」(受賞作品・一次審査通過作品)を、高齢協YouTubeチャンネルでは受賞作品のレシピ動画をご覧ください！

好評発売中！！

特別養護老人ホームで働く介護職員が感じている「やりがい」「介護の魅力」が満載！「介護のこだわり」や「休日の過ごし方」も公開！！

## 話題の本「YOSUGA（縁）～リアルな声から見えてくる介護の現場」



高齢協の若手現役介護職員中心のユニット「東京ケアリーダーズ」。メンバー自身も学びながら、次世代を担う介護職の育成と、介護職の魅力ややりがいがある情報発信の強化に努めています。

本書「YOSUGA（縁）」は、東京ケアリーダーズが作成、発行した冊子です。東京都内の特別養護老人ホームで働く現役の介護職員を対象に実施した「介護の魅力アンケート」の回答からのリアルな声を紹介しながら、東京ケアリーダーズが「介護職の魅力」を伝える内容となっています。

人の尊厳や生命にも関わる介護の専門性の高さ、職場内や利用者・家族等との人間関係の葛藤や感動、若手の介護職員が悩み考えながら一歩ずつ前進する姿、ひたむきに高齢者と向き合う姿が浮かび上がってきます。休日の過ごし方など、介護職をめざす方が気になる情報も掲載。日々邁進している現役の介護職が、自分たちの言葉で、介護の仕事の魅力をお伝えしています。ぜひ一度、お手に取ってご覧ください！

\*ご購入は東京都社会福祉協議会ホームページ「福祉の本」のページから  
<https://www.tcsww.tvac.or.jp/php/contents/book.php?key=101060>



価格：495円（450円＋税10%）  
サイズ：A5判 60頁  
発行：2022年4月

高 齢 協

T O P I C S

レシピ



動画



介護の魅力を発信しよう!

# 東京の介護 すばらしい グランプリ



コラム



写真

2023

皆さん、奮ってのご応募お待ちしております!

多様な場面にスポットをあて、介護の魅力を広くPRする、年に一度のグランプリイベント。  
介護の魅力を伝えたい人なら、どなたでも応募OK!  
優秀作品には豪華な賞金・賞品をご用意しております。ぜひ奮ってご応募ください!

最優秀賞  
5万円

応募期間 2023年9月26日(火)～2023年12月4日(月)

募集部門 動画部門 / 写真部門 / コラム部門 / レシピ部門

賞金 最優秀賞 5万円 / 優秀賞 3万円 / 入賞 1万円

※部門ごとに決定します。※各部門、最優秀賞1作、優秀賞2作、入賞3作の予定です。

応募資格 東京の介護の魅力を伝えたい方ならどなたでも  
(ご利用者・ご家族・一般の方・職員など)

応募方法 特設サイトの申込みフォームからご応募ください。

特設サイト [開催概要・申込みフォーム](#)  
過去の受賞作品がご覧いただけます。



発表 各部門の受賞作品は、2024年3月頃、特設サイトにて  
発表・掲載を行います。

その他、豪華賞品あり

ダブディビ・デザイン  
「ART BRUT ハンカチーフ」等  
豪華な賞品をご用意!

詳細は随時  
特設サイトとSNSで  
お知らせします!  
YouTube、Facebook、  
Instagram、X(旧Twitter)  
やっています!



お問い合わせ 東京の介護ってすばらしいグランプリ2023

主催：社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会(情報・広報室)  
事務局：社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 福祉部 高齢担当  
■URL <http://koureikyo.com/> ■メール [tokyokaigo-gp@ifys.jp](mailto:tokyokaigo-gp@ifys.jp)



高齢協の各種SNSでも、  
随時情報発信中!  
詳しくは、高齢協HPから  
ご確認ください。



## 高齢協 情報・広報室 室長コラム

令和6(2024)年4月に施行される介護報酬改定に向けた議論が本格化しています。この度の改正で厚生労働省は、サービスごとの報酬に関する議論に加え、介護に携わる人材の確保と現場の生産性向上、地域包括ケアシステムの推進といった分野全体にわたる課題を念頭に協議が行われ、年内に方針をまとめ、年明けに改定案を示すとしています。

こうした中、本号では高齢協のSNSの発信について特集しましたが、SNSは今や人口のおよそ8割が利用しており、その世代は、若い方だけでなく、幅広い世代に使われるインフラ的な存在になっていることは紛れもない事実で、実際にSNSをビジネスに活用することを基本戦略としている企業も数多く存在し、今後のマーケティング戦略において、SNSの活用は必須となりつつあります。

目の前に迫った介護報酬改定ですが、今後も、高齢協でもSNSが持つ拡散性も活かし、会員はもろろん、都民の方々、特に制度になかなかリーチできない層にまで、正確な情報をお届けし、介護保険制度への理解や、魅力溢れる介護現場の実際を発信していきたいと思っています。

情報・広報室 室長

水野 敬生